

「健やか山梨21(第2次)」の概要



計画の趣旨・目的

この計画は、いきいきと健やかに暮らせる社会を実現することを目的に、個人の生活習慣の改善及び個人を取り巻く家庭、学校、地域、職場等の社会環境の改善を通じて、生活習慣病の発症予防・重症化予防を図るとともに、社会生活機能低下の低減による生活の質の向上を図り、また、社会参加の機会の増加による社会環境の質の向上を図ることで、健康寿命の延伸・市町村間の健康格差の縮小を実現していきます。

計画の期間

平成25年度から平成34年度を最終年度とした、10カ年計画とします。

計画の位置付け

「健やか山梨21(第2次)」は、健康増進法(平成14年法律第103号)第8条の「都道府県健康増進計画」として位置付けます。

「山梨県地域保健医療計画」、「山梨県医療費適正化計画」、「山梨県がん対策推進計画」、「健康長寿やまなしプラン」及びその他の健康増進計画と関連する計画との調和を図ります。

現状と課題、評価

- 健康寿命については、山梨県は、男性5位、女性12位でした。
- がん検診受診率及び精検受診率は取組み強化を図っていますが、上昇傾向ではあるものの目標値には達していません。
- 「メタボリックシンドロームの概念の普及」は若い年代では、知っている人の割合が増加しているものの、目標値には達していません。
- 特定健康診査受診率は47.4%、特定保健指導実施率は、16.0%であり、全国平均を上回っているものの目標値には達していません。
- 朝食を欠食する者及び女性20歳代のやせの者が増加しています。
- 塩分摂取量及び20歳～60歳代の男性、40歳～60歳代の女性の肥満者は、改善傾向にあるものの、目標値には達していません。
- 野菜の摂取量335gと全国平均を上回っているものの、目標値には達していません。
- 日常生活における歩数は男性、女性全ての年代層で著しく減少しています。
- 80歳で20本以上の自分の歯を有する者の割合が4割を超えており、目標値に達しています。
- 生後4ヶ月までの乳児の全戸訪問事業実施市町村割合が100%であり、目標値に達しています。

取組みの方向性

1 健康寿命の延伸と健康格差の縮小の実現

高齢化の進展及び疾病構造の変化を踏まえ、生活習慣病の予防等により健康寿命の延伸を図ります。また、あらゆる世代の健やかな暮らしを支える良好な社会環境を構築することにより、健康格差の縮小を図ります。

2 主要な生活習慣病の発症予防と重症化予防の徹底

食生活の改善や運動習慣の定着等による一次予防に重点を置いた対策を推進し、合併症の発症や症状の進展等の重症化予防に重点を置いた対策を推進します。

3 社会生活を営むために必要な機能の維持・向上

県民が自立した日常生活を営むことを目指し、乳幼児期から高齢期までのライフステージにおいて、心身機能の維持及び向上を図ります。また、生活習慣病を予防し、又は発症時期を遅らせることができるように、子どもの頃から健康な生活習慣づくりに取り組みます。

4 健康を支え、守るための社会環境の整備

社会全体で、個人の健康を支え、守る環境づくりに努めていくことが重要です。地域や世代間の相互扶助など、地域や社会の絆、職場の支援等が機能することにより社会全体が相互に支え合うとともに、健康を視点とした社会環境の整備に努めます。

5 栄養・食生活、身体活動・運動、休養、飲酒、喫煙及び歯・口腔の健康に関する生活習慣及び社会環境の改善

乳幼児から高齢期までのライフステージや性差、社会状況や経済的状況等の違いに着目し、生活習慣の改善を図ります。

主な数値目標値(全体45目標指標中)

項目	山梨県の現状	平成34年度 目標値
1 健康寿命の延伸(日常生活に制限のない期間の平均の延伸)	男 71.20年(H22) 女 74.47年(H22)	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加
2 がん検診の受診率の向上	胃がん 男女 37.4% 肺がん 男女 31.9% 大腸がん 男女 29.0% 子宮頸がん(女)31.3% 乳がん(女)40.9%	50%(胃がん、肺がん、大腸がんは当面40%)(H29:がん計画評価年)
3 肝がんの年齢調整死亡率の改善	8.8(H22 全国値 参考 7.6)	全国平均にまで改善(H28:肝炎対策計画評価年)
4 血糖コントロール指標におけるコントロール不良者の割合の減少(HbA1cがJDS値8.0%(NGSP値8.4%)以上の者の割合の減少)	0.82%	0.70%以下
5 認知機能低下ハイリスク高齢者の把握率の向上	2.71%(H22)	10%
6 適正体重を維持している者の増加	20～60歳代の男性の肥満者の割合 29.3% 40～60歳代女性の肥満者の割合 22.9% 20歳代女性のやせの者の割合 25.0%	26% 20% 17%
7 低栄養傾向(BMI20以下)の高齢者の割合の増加の抑制	16.6%	21%以内
8 ロコモティブシンドローム(運動器症候群)を認知している県民の割合の増加	(全国値 参考17.3%(H24))	80%
9 成人の喫煙率の減少(喫煙をやめたい人がやめる)	21.2%	13.9%
10 COPDの認知度の向上	(全国値 参考 25%(H23))	80%
11 日常生活における歩数の増加	20～64歳 男 7,332歩 女 6,022歩 65歳以上 男 4,149歩 女 3,571歩	20～64歳 男 9,000歩以上 女 8,000歩以上 65歳以上 男 6,000歩以上 女 5,000歩以上

健やか山梨21(第2次)の推進体制

